

## 臨時記者発表要旨 (06.12.15)

### インターネットを通じた業務情報の流出について

12月13日水曜日に佐伯市の業務情報がインターネットに流出していることが判明しました。原因は職員の自宅のパソコンがウィルスに感染していたことによるものでございます。

職員は職場のパソコンから仕事関係のデータを持ち帰り、自宅のパソコンに入れたところ、自分では全く気がつかない間にインターネットに流出したとの報告を受けております。

流出した情報は、平成16年度と平成17年度の消防署職員120人の名簿と平成11年度に実施した防火対象物管理者への指示・指導事項に関する文書データ6件であります。

防火対象物管理者の方には、昨日でございますが、14日(木曜日)の午前中に、消防署職員が謝罪に参っております。

今回の情報が流出しましたことは、過失とはいえ、重大かつ深刻な事態として受け止めており、ここに、深くお詫び申し上げます。

大変申しわけございませんでした。

今回のことが、二度と発生しないように、情報管理を慎重に行うことを全職員に徹底してまいりますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

#### 【資料】

##### (流出した主な業務情報)

- ・ 平成16年度、平成17年度の佐伯市消防署職員120人の名簿
- ・ 平成11年度の防火対象物管理者への指示・指導事項に関する文書6件

##### (流出の原因と対処)

- ・ 職場のパソコンからフロッピーに仕事関係のデータをコピーし、自宅のパソコンに入れて作業
- ・ ファイル交換ソフト(「ウィニー」、「シェアー」)を入れており、気がつかない間にパソコンの情報が流出
- ・ ウィルス対策ソフトを使用していたが、平成18年1月でライセンスが切れているのがわからなかった。

##### (関係者への対応等)

- ・ 14日、情報が流出した関係事業所に対しては、消防署職員が午前中出向

き、謝罪した。

- ・ 平成18年12月15日午前10時、全職員に、佐伯市情報セキュリティポリシーを再度確認し、情報セキュリティ対策の遵守について通知を行った。

#### (これまでのセキュリティ対策)

- ・ 平成18年8月30日に「佐伯市情報セキュリティポリシー」を施行し、全職員に情報セキュリティ対策に対する周知を行った。
- ・ 平成18年11月13日、14日には、管理職を対象に情報セキュリティ対策研修を行った。
- ・ 平成18年3月8日以降、数回にわたり市役所のパソコンでファイル交換ソフトを使用しないこと、業務データは極力持ち出さないこと、止むを得ず庁外で作業する場合、ファイル交換ソフトの入っていないパソコンで作業すること等を全職員に通知した。

#### (今後の対応)

- ・ 全職員に佐伯市情報セキュリティポリシーを周知徹底する。
- ・ 全職員にファイル交換ソフトを入れているパソコンに仕事関係のデータを入れないことを周知徹底する。
- ・ 19年度には、全職員を対象とした情報セキュリティ研修を実施予定